雜報

◉會員動靜

補岡山醫科大學附屬醫院長　岡山醫科大學教授　藤田秀太郎

依願岡山醫科大學附屬醫院長ヲ免ス　岡山醫科大學教授　筧　繁

五級俸下賜　青島守備軍民政部醫官　笹原竹三（六月二十一日）

近衛野砲兵聯隊附被仰付　陸軍一等軍醫　堤　元齡（六月二十四日）

敍勳三等授瑞寶章　正六位勳四等功四級　上山喜明（六月二十六日）

（各　通）　田中屋清人（六月二十七日）

木村芳雄

有馬　玄

饗場美誠

（各　通）

賜一等給　陸軍一等軍醫　武井良一

年俸二千二百圓下賜　陸軍一等軍醫　藤井眞澄

補步兵第四十七聯隊附　鐵道醫　岡島　壽（六月三十日）

補野砲兵第四聯隊附　陸軍一等軍醫　淵　嘉吉（七月五日）

岡山醫科大學附屬醫院內科醫長ヲ免ス　陸軍三等軍醫　山本宗次

任東京帝國大學助教授　岡山醫科大學教授兼岡山醫科大學附屬醫學專門部教授從六位　筧　繁（七月十日）

敍高等官五等　東京帝國大學助教授　木下益雄

本俸十一級俸下賜　朝鮮總督府道慈惠醫院醫官　木下益雄（七月十五日）

九級俸下賜　武田俊一郎（六月三十日）

敍正八位

○佐野實君　昨年渡歐せられたる同君は同年十月よりフライブルヒ大學內科學教室に於て內科學を專攻し居らる其通信宛は左の如し

Medizinischen Universität Klinik.
Albertstrasse 4.
Freiburg i/Br.
Deutschland.

○奧島貫一郎君　豫て歐洲留學中の同君は去月末日無事歸朝せられたり

○村上博一君　は豫て松山市日本赤十字社支部病院に勤務し居られしか今般愛媛縣北宇和郡吉田町吉田病院に轉勤せられたり

○三宅乾君　は今回開業を中止し東京市神田區今川小路羽太診療所に勤務せられたり

○美馬林一君　は先般より北海道空知郡砂川村市街兒玉病院に勤務せられたり

○三谷盛國君　は豫て朝鮮春川慈惠醫院に勤務し居られしか今般福岡縣鞍手郡宮田村菅牟田炭鑛病院に轉勤せられたり

○山內繁雄君　は先般岡山醫科大學副手を囑託せられ附屬醫院第一內科に勤務せらる

○野中敏彥君　は先般岡山醫科大學副手を囑託せられ附屬醫院眼科に勤務せらる

○奧村雅延君　は先般岡山醫科大學副手を囑託せられ附屬醫院第一內科に勤務せらる

○藤田朝治君　豫て神戶市和田岬港務部に勤務中の同君は先般同市西須磨浦療病院に轉勤せられたり

○山田甫一君　は豫て信州諏訪病院に勤務し居られしか今般東京市慶應義塾醫科大學附屬醫院外科に轉勤せられたり

○前田順平君　は先般より北海道帝國大學醫學部附屬醫院外科に勤務せられたり

○我部正光君　は今般兵庫縣城崎郡豐岡町公立病院に勤務せられたり

○高井春生君　は豫て朝鮮總督府醫院に勤務し居られしか今般忠淸南道公州慈惠醫院に轉勤せられたり

○濱本信雄君　は今般本縣邑久郡水門木畑內科醫院に勤務せられたり

○永井蓊君　は豫て九州帝國大學醫學部耳鼻咽喉科に於て研究中なりしか今般愛媛縣西宇和郡八幡濱町に於て耳鼻咽喉科專門を以て開業せられたり

○神崎勤君　大正六年岡山醫學專門學校卒業後當市伊達病院に勤務し後東京府下品川町品海病院に轉勤し居られしか今般辭職東京府荏原郡大崎町大字居木橋に於て開業せられたり

○小野逸士君　は豫て岡山醫科大學附屬醫院外科に勤務し居られしか今般辭職本縣小田郡小田村に於て開業せられたり

○大森操君　は今般神戸市板宿字東寺田に於て眼科專門を以て開業せられたり

○梶谷尙君　は豫て岡山醫科大學附屬醫院小兒科に勤務し居られしか今般其職を辭し當市內山下に於て開業せられたり

◉學位論文審査の要旨　昨年十二月八日醫學博士の學位を授與せられたる德岡英君の論文審査の要旨は左の如し

主論文

月經期ニ於ケル植物性神經系ノ緊張ニ就テ（近畿婦人科學會々報第七號）

著者は月經期に於ける副交感神經系及交感神經系の緊張度昂進等に就て報告せり

◉岡山醫科大學の火災　本月七日午後十一時頃より岡山醫科大學病理教室に火災起り市內公私設の各消防及び第十七師團より步兵の出動あり何れも必死に防火に力めし爲め同教室一棟のみの燒失にて翌午前一時頃鎭火せり損害は十萬圓以上なりと